



妙高・火打・煙金山・天狗原山などの山々を総称して、妙高連峰あるいは頸城山塊と呼んでいる。妙高山は越後の名山で、越後富士とも呼ばれている。若干頭デッカの感はあるが、一応均整もとれ、気品とドッシリした重量感と共に、のびやかに広がる裾野の雄大さは、古くから大きなスキー場を抱え、温泉地としても有名である。中央火口丘の(妙高山)周囲には、神奈山・大倉山・三田原山・赤倉山・前山など、円く取り巻いて外輪山と形づくっている。

バス時刻表 700円
妙高→妙高高原駅
→ 10:10 11:25 列車急赤倉12:09→名古屋着17:51
→ 13:20 14:35
→ 15:00 16:15
→ 17:00 18:15

行程
1980 昭和55年10月17日(金) 名古屋発 急ぎ5号 23:46
信越本線 妙高高原駅 着10月18日(土) 6:18 早朝のため、ツバメ温泉までタクシーで入る。燕ルートに登る。胸突八丁で霧雨も止んで青空となる。頂上で又くもり。黒沢池ヒュッテで泊る。10月19日(日) 早朝小雨のため火打山は中止。笹ヶ峰へ下山する。妙高12:09→名古屋17:51着

登山者 奥村 装具14kg
浅川 15kg

妙高山
(上信越高原国立公園)